板書例

3　**第五段・まとめ**

第五段

◆「私」が「待つ」もの
もっと和やかな、ぱっと明るい、
すばらしいもの→春のようなもの
→青葉→五月→麦畑を流れる清水
←どれも違う、けれども

胸を躍らせて…希望
一心に一心に…ひたむきな態度
◆不安であっても孤独であっても
「待つ」ことを選んだ「私」

◆「あなた」の違い
第四段落の「あなた」
→「私」に声を掛ける人
⇔
第五段落の「あなた」
→「胸を躍らせて待って」いるもの、
「私」の物語を読んでいた読者

まとめ　書いてみよう
言語活動 1　時代状況／テーマ
言語活動 2　「私」／作者

作家紹介　太宰治
…戦時下の創作活動